

**【事前確認シート】**

1. 平成27年度「科学研究費補助金（研究成果公開促進費）」の  
応募書類の提出に当たって

「データベース（研究成果データベース）」

応募書類を提出するに当たっては、以下のことを確認してください。

- ① 必要な応募書類・提出部数は全て揃っていますか？  
※必要とされる応募書類の提出がない場合は、**審査に付すことができなくなります**ので、提出する前に必ず確認をしてください。



※特に、複数の「審査希望分野」での審査を希望＜広領域応募＞される場合には、選択した「審査希望分野」の数によって、必要とされる①「計画調書」、②「経理管理及び監査体制」についての添付資料（学術団体等が応募する場合に該当）、③「入力作業委託費見積書」、④「CD-ROM 又は DVD-ROM 等作成委託費見積書」の提出部数が異なりますので、必ずもう一度確認してください。

- ② 「計画調書」「応募カード」「入力作業委託費見積書」「CD-ROM 又は DVD-ROM 等作成委託費見積書」「CD-ROM 又は DVD-ROM 等配布先一覧」は、平成27年度応募用の所定の様式を使用していますか？
- ③ 「計画調書」は、正本・副本ともに、きちんと**両面印刷**となっていますか？  
また、計画調書の左側がきちんと**糊付け**されていますか？  
副本のうち、**糊付けをしないクリップ留めのものが1部**用意されていますか？
- ④ 「応募カード」は、**片面印刷**となっていますか？  
また、「応募カード」の左側がきちんと**糊付け**されていますか？
- ⑤ 「計画調書」及び「応募カード」に、**乱丁・落丁**などはありませんか？  
※これらの書類に**乱丁・落丁**があった場合は、**適切な審査が行えなくなります**。**（場合によっては、審査に付すことができなくなります）**
- ⑥ 応募書類に必要な事項の記載漏れはありませんか？
- ⑦ 「見積書」からの**数字（単価・員数・金額・その他の数字・記載事項等）**の転記に誤りはありませんか？  
（なお、見積書において「円単位」となっているものを、計画調書作成・記入要領の注意書きに従って、「千円未満の端数を切り捨てて千円単位に修正」したことに伴う金額の相違については、この限りではありません。）
- ⑧ 「計画調書」及び「応募カード」に記載された、**単価・員数・金額・件数・人数・その他の数字及びその合計**に誤りはありませんか？

応募に必要な書類及び提出部数

応募に必要な書類	提出部数
データベース計画調書	5部（正1部、副4部） ※副のうち1部はクリップでとめる
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が2つの場合 審査希望分野が3つの場合	10部（正1部、副9部） 15部（正1部、副14部） ※副のうち1部はクリップでとめる
「経理管理及び監査体制」についての添付資料 （経理関係規則）※学術団体等が応募する場合に該当	5部
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が2つの場合 審査希望分野が3つの場合	10部 15部
応募カード	1部
入力作業委託費見積書	5部（正1部、副4部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が2つの場合 審査希望分野が3つの場合	10部（正1部、副9部） 15部（正1部、副14部）
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費見積書	5部（正1部、副4部）
「広領域」での審査を希望する場合 審査希望分野が2つの場合 審査希望分野が3つの場合	10部（正1部、副9部） 15部（正1部、副14部）
その他の審査資料 ①利用規程 ②検索過程・結果 （検索開始から検索結果が表れるまでの画面上の過程をそれぞれプリントスクリーン等で印刷し、検索過程における画面上の流れが分かるようにしたもの。） ③検索マニュアル CD-ROM又はDVD-ROM等配布先一覧	各1部

平成27年度 研究成果公開促進費 審査希望分野表Ⅱ

「研究成果公开发表」「学術図書」及び「データベース」			
系	審査希望分野	番号	参考となる関連専門分野
人文科学系	哲学	110	哲学・倫理学 中国哲学・印度哲学・仏教学 宗教学 思想史 美学・芸術諸学 美術史
	文学 A	120	日本文学
	文学 B	130	ヨーロッパ文学 中国文学 文学一般 その他文学Aに該当しないもの
	言語学	140	言語学 日本語学 英語学 日本語教育 外国語教育
	史学 A	150	日本史
	史学 B	160	史学一般 アジア史・アフリカ史 ヨーロッパ史・アメリカ史 考古学 文化財科学・博物館学 その他史学Aに該当しないもの
社会科学系	人文地理学・文化人類学	170	人文地理学 文化人類学・民俗学
	法学	210	基礎法学 公法学 国際法学 社会法学 刑事法学 民事法学 新領域法学
	政治学	220	政治学 国際関係論
	経済学	230	理論経済学 経済学説・経済思想 経済統計 経済政策 財政・公共経済 金融・ファイナンス 経済史
	経営学	240	経営学 商学 会計学
	社会学	250	社会学 社会福祉学
	心理学	260	社会心理学 教育心理学 臨床心理学 実験心理学
	教育学 A	270	教育学 教育社会学 特別支援教育
教育学 B	280	教科教育学 その他教育学Aに該当しないもの	
理工系	数物系科学 A	310	数学 天文学 物理学 プラズマ科学
	数物系科学 B	320	地球惑星科学 その他数物系科学Aに該当しないもの
	化学	330	基礎化学 複合化学 材料化学
	工学 A	340	応用物理学 計算科学 機械工学 電気電子工学 材料工学 プロセス・化学工学 総合工学 その他工学Bに該当しないもの
工学 B	350	土木工学 建築学	
生物系	生物学	410	基礎生物学 生物科学 人類学
	農学	420	生産環境農学 農芸化学 森林園芸学 水圏応用科学 社会経済農学 農業工学 動物生命科学 境界農学
	医歯薬学	430	薬学 基礎医学 境界医学 社会医学 内科系臨床医学 外科系臨床医学 歯学 看護学

## 2. 「応募カード」の記載事項を確認するに当たって

**「応募カード」**は、

- ・ 応募課題を審査するに当たっての審査資料の作成
- ・ 採否の結果をお知らせする際の通知文書の作成
- ・ 採択のあった課題に対して、交付決定を行う際の通知文書の作成
- ・ 補助金額の決定
- ・ その他、採択課題として決定した後の事務処理

を行う際の基礎となる、**非常に重要な応募書類**です。

**「計画調書」に正しい記載があっても、「応募カード」に正しく転記がなされていなかったり、記載漏れがあった場合には、審査に付すことができなくなったり、「応募カード」に記載された誤った情報のまま審査に付され、その後処理されることとなりますので、記載漏れ・記載情報の誤りが無いか、次頁以降の注意書きの内容を参照の上、確認してください**

\*この欄は記入しないでください。

\*受付番号

※応募者が所属する研究機関が記入する事項	研究機関名称	〇〇〇〇大学		
	機関番号	12345	整理番号	1

機関管理となる課題が対象]これらの項目は、研究機関において確認をしてください。

- 記載されている「機関番号」に誤りはありませんか？  
「整理番号」の重複・抜けはありませんか？  
所属研究機関の研究者名簿に登録されている正しい研究者番号が記載されていますか？

### 平成27年度 データベース 応募カード

(応募カード作成・記入要領に基づき記入してください。)

応募区分 : 1. 研究成果DB 2. 学術誌DB  (対応する番号を記入)

- 希望する「応募区分」がきちんと選択(対応する番号を記入)されていますか？  
**この応募区分に誤り又は選択が無い場合は、適切に審査ができなくなる場合がありますので、必ず該当の区分を正しく選択してください。**

フリガナ  
応募者職名・氏名  
(記名押印又は署名)

ガクジュツ  
委員長 学術花子 印

(生年月日:大昭)平 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生)

- 応募者の職名・氏名(記名・押印又は署名(直筆))は正しく記載されていますか？  
応募者の職名は、当該データベース作成組織における代表者職名(委員長・会長等)になっていますか？  
押印は、応募者の個人印又は**応募団体の職印(職印がない場合には個人印)**となっていますか？  
「フリガナ」「生年月日」は正しく記載されていますか？

※ 郵便物等送付先(書類送付の際の宛名シールの基本となります。)

(1) 郵便番号  
1 2 3 - 4 5 6 7

(2) 住所  
△ △ 市 ◇ ◇ 区 × × 1 - 5 - 9

(3) 宛名  
〇 〇 大 学 〇 〇 学 部 〇 〇 研 究 室 気 付  
〇 〇 テ ー タ ヘ ー ス 作 成 委 員 会  
学 振 太 郎

- (1)郵便番号、(2)住所、(3)宛名に誤りはありませんか？  
この欄に記載された住所に、「科学研究費補助金(研究成果公開促進費)」の関係書類を送付することになりますので、誤りがないか確認をしてください。  
**なお、この住所(作成組織所在地又は応募者自宅住所)が、日本国内でない場合は、審査に付すことができなくなります。**  
【参照】:公募要領21頁「(4)データベース」

※「機関管理となる課題」の場合は所属研究機関へ関係書類を送付することになるため、この欄の記入は必要ありません。

#### 1 審査希望分野【共通】【研究成果DB、学術誌DB 計画調書1】

4 1 0 (対応する番号を記入)

- 審査希望分野が**1つ**の分野である場合  
⇒上段にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

#### <広領域応募の場合のみ記入>【研究成果DB、学術誌DB 計画調書1-2】

- 審査希望分野が**2つ以上**の分野にまたがる場合<広領域応募>  
⇒下段にのみ、対応する審査希望分野の番号が正しく記載されていること。

#### 2 作成組織又は応募団体の名称【研究成果DB、学術誌DB 計画調書3】

【共通】

(1) フリガナ

〇	〇	テ	ー	タ	ヘ	ー	ス	サ	ク	セ	イ	イ	イ	ン	カ	イ

**(注意)なお、以下①~④に該当する場合は、審査に付すことができなくなります。**

- 審査希望分野の番号の記入が無い。
- 上段、下段の両方に審査希望分野の番号が記載されている。
- 「審査希望分野表」に存在しない番号が記載されている。
- 「広領域応募」の応募課題で、同じ「系(人文科学系・社会科学系・理工系・生物系)」の中から**2つ以上**の審査希望分野の番号が記載されている。

【参照】:計画調書1頁「1 審査希望分野(番号)」及び「1-2 審査希望分野(番号)」

(2) 漢字

〇	〇	テ	ー	タ	ヘ	ー	ス	作	成	委	員	会

- 計画調書1頁。「3 作成組織の名称」と同一ですか？  
「フリガナ」に記入漏れはありませんか？  
濁点・半濁点も「1文字」として正しく記載されていますか？

データベース  
の 名 称

〇〇〇〇〇〇〇〇〇データベース

- データベースの名称は正しく記載されていますか？

3 応募者の職名・氏名 【共通】 【研究成果DB、学術誌DB 計画調書4】

(1) フリガナ

イ	イ	ン	チ	ヨ	ウ	カ	ク	シ	ユ	ツ	ハ	ナ	コ						

(2) 漢字

委	員	長		学	術		花	子											

8. 計画調書1頁。「4 応募者の職名・氏名」と同一ですか？  
 「フリガナ」に記入漏れはありませんか？  
 濁点・半濁点も「1文字」として正しく記載されていますか？  
 職名と氏名の間及び氏名の姓と名の間は1枠分のスペースが空いていますか？

4 データベースの名称(日本語名及び英語名略称) 【共通】

【研究成果DB、学術誌DB 計画調書6】

(1) 日本語名

○	○	○	○	○	○	○	○	○	テ	ー	タ	ヘ	ー	ス					

(2) 英語名略称

A	B	C	D	B															
---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9. 計画調書1頁。「6 データベースの名称」と同一ですか？

※ 以下5~6は、応募区分が「研究成果DB」の場合のみ記入してください。

5 対象分野 【研究成果DB 計画調書7】

○	○	○	○	の	分	野													

10. 計画調書1頁。「7 対象分野」と同一ですか？

6 データベースの種類・性格 【研究成果DB 計画調書9】

<上段> 

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

 (複数選択可)   
 1. 書誌情報 2. 数値情報 3. 画像情報  
 4. 音声情報 5. 動画情報 6. その他

<下段> 

1	2	3
---	---	---

 (複数選択可)   
 ( 1. レファレンス 2. 論文 3. ファクト )

11. 計画調書1頁。「9 データベースの種類・性格」と同一ですか？  
 上段・下段ともに記載漏れはありませんか？

データベース の名称	○○○○○○○○○○データベース
---------------	------------------

※ 以下7～9は、応募区分が「**学術誌DB**」の場合のみ記入してください。

7 データベースの種類 【学術誌DB 計画調書9】

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

(複数選択可)

- ( 1. 書誌情報 2. 数値情報 3. 画像情報  
4. 音声情報 5. 動画情報 6. その他 )

12. 応募区分が「研究成果データベース」の応募課題であるにも関わらず、誤って記入されていませんか？

8 投稿論文取扱状況 【学術誌DB 計画調書22】

平成25年度投稿論文数 件 ( 件 )  
(うち海外からの件数)

平成26年10月1日現在の  
 掲載(採用)件数 件 ( 件 )  
(うち海外からの件数)  
 審査中件数 件 ( 件 )  
 不採用件数 件 ( 件 )

投稿から掲載までの平均期間・最短期間  
 平均期間 日 最短期間 日

9 海外学術雑誌における掲載論文の引用状況 【学術誌DB 計画調書25】

	引用件数	Impact factor値
2012年	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2013年	<input type="text"/>	<input type="text"/>

データベース の名称	○○○○○○○○○○データベース
---------------	------------------



13 課題番号及び内約を受けた額【研究成果DB 計画調書20】【学術誌DB 計画調書18】  
 (継続事業課題についてのみ、その内約期間に限り記入のこと)

課題番号	2	6	7	8	9	0
平成27年度		6	6	0	0	千円
平成28年度		7	2	0	0	千円
平成29年度		7	2	0	0	千円
平成30年度		8	0	0	0	千円

17. この欄は、平成27年度の継続内約があり、かつ大幅な計画変更を行おうとする課題に該当する場合に使用する欄です。  
 平成27年度に継続内約の無い応募課題であるにも関わらず、誤ってこの欄に応募額等が記入されていることはありませんか？

※ H26年度の「科学研究費補助金(研究成果公開促進費)」の交付決定を受けていても、同時に翌年度(平成27年度)以降の科研費金の交付予定額の内約を受けていない課題が今回応募をする際には「新規応募課題」としての扱いとなりますので、この欄には何も記入しないでください。

14 補助要求額【研究成果DB 計画調書21】【学術誌DB 計画調書19】  
 【共通】

平成27年度		5	2	6	1	千円
平成28年度		5	5	9	1	千円
平成29年度		5	2	4	1	千円
平成30年度		4	0	9	1	千円
平成31年度		3	7	1	0	千円

18. 「14 補助要求額」欄に記載された各年度の金額に誤りはありませんか？  
 計画調書に記載した、「入力作業協力に対する人件費・謝金」、「入力作業委託費」、「著作権使用料」、「国内連絡旅費」、「消耗品費」、「CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費」、「その他」の各経費の合計額が正しく記載されていますか？

【参照】: 計画調書4頁。「21 研究成果データベースの作成に直接必要となる経費」

**なお、今回応募しようとする期間中の、各年度ごとの補助要求額が「0(ゼロ)」円または無記入である場合は、当該年度の科研費が交付されることはありません。なお、平成27年度の補助要求額が「0(ゼロ)」円または無記入である場合は、審査に付すことができなくなります。**

15 補助要求額の内訳(平成27年度)

【「研究成果DB」の場合にのみ記入】【研究成果DB 計画調書21】

入力作業協力に対する人件費・謝金		2	2	5	0	千円
入力作業委託費		1	4	4	0	千円
著作権使用料			4	0	0	千円
国内連絡旅費	⊗	⊗		8	1	千円 (100千円程度)
消耗品費			4	6	0	千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費			3	8	0	千円
その他			2	5	0	千円

19. 「15 補助要求額の内訳」欄に記載された平成27年度の各経費の金額に誤りはありませんか？

**なお「国内連絡旅費」は、10万円(100千円)程度までです。**

【参照】: 計画調書4頁「21 研究成果データベースの作成に直接必要となる経費」

【参照】: 公募要領19頁「(3)応募対象経費① d) 国内連絡旅費」

【「学術誌DB」の場合にのみ記入】【学術誌DB 計画調書19】

入力作業協力に対する人件費・謝金						千円
入力作業委託費						千円
著作権使用料						千円
消耗品費						千円
CD-ROM又はDVD-ROM等作成委託費						千円
その他						千円

20. 応募区分が「研究成果データベース」の応募課題であるにも関わらず、誤って記入されていませんか？

データベース の名称	○○○○○○○○○○データベース
---------------	------------------